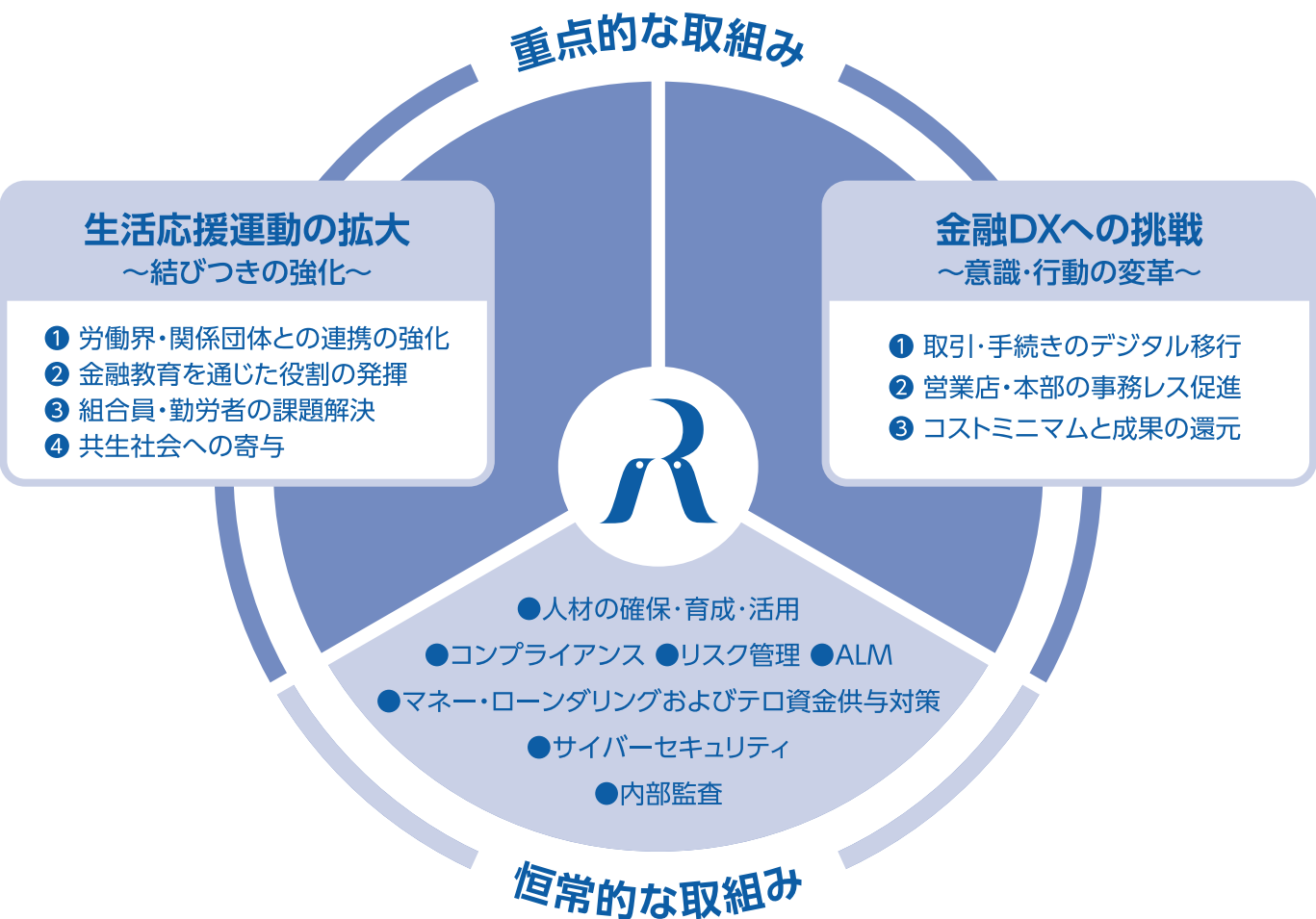


第9次中期経営計画(2024～2026年度)

基本方針
(コンセプト)

「会員との深いつながり」を何よりも大切にし、
「誰もがアクセスできる金融」をめざして挑戦します。



●計数目標



※計数目標は、経営環境や金利情勢等に応じて毎年度見直します。

●近畿推進会議の運動の基調

- ① 会員相互の協同と連帯を強め、ろうきん運動を積極的に推進することで、労働者福祉運動の推進と事業の拡大に寄与することを私たちの目的とします。
- ② 労働運動およびろうきんの歴史を振り返り、「労働者の経済的地位の向上に資することを目的に会員がろうきんを創設したこと」を学びながら、それぞれの会員は、ろうきん運動を自らの活動と位置付けて、取組みを進めます。
- ③ 会員は、各地域推進機構の活動に参画して、組合員のお金に関する「不安」・「課題」を解決するための「総合的なお金の相談活動」に加え、より豊かな人生とする生活設計に向けた「金融教育」に取り組み、「生活応援運動」を推進します。
- ④ 会員とろうきんは協働して、「近畿労働金庫第9次中期経営計画」に取り組み、会員・組合員の生活向上に努めます。
- ⑤ 会員は、「近畿労働金庫第9次中期経営計画」を踏まえた推進委員会の取組方針に基づいて運動目標を定め、取組みを進めます。

重点的な取組み		3年後にめざす到達点
生活応援運動の拡大	① 労働界・関係団体との連携の強化	
	会員推進機構における展開	▶ 全会員での取組み展開
	ナショナルセンター・産別組織への展開	▶ ろうきん運動の裾野の拡大
	関係団体への展開 (外部団体・生協)	▶ 生協組合員の利用増加
	② 金融教育を通じた役割の発揮	
	会員団体・企業への展開	▶ 金融教育における知名度の向上
	地域社会への展開	▶ 地域での認知度・好感度向上
	③ 組合員・勤労者の課題解決	
	□座開設の推進	▶ メイン利用者*20万人以上 (3万人増) ※当金庫所定のお取引があるお客さま
	各種ローン等の推進	▶ 積立定期預金新規8万件以上
金融DXへの挑戦	資産形成 (NISA・iDeCo等) の推進	▶ 個人融資の残高増加額800億円以上
		▶ 投資信託販売額200億円以上
		▶ iDeCo新規18,000件以上
	④ 共生社会への寄与	
	子ども支援の取組み	▶ 取組みの認知度・好感度向上
	社会貢献の取組み	▶ 笑顔プラスの残高増加額20億円以上
		▶ NPO等融資残高45億円以上
	① 取引・手続きのデジタル移行	
	フルセルフの推進 (デジタル化)	▶ キャッシュレス化等による個人伝票30%以上削減* ※ろうきんダイレクトの利用促進による一部伝票の削減割合
	セミセルフの推進 (リアル・デジタル融合化)	▶ 対面でのペーパーレス申込率80%以上* ※WEB・ろうきん専用端末を経由した主要無担保ローンの新規申込み割合
	② 営業店・本部の事務レス促進	
	営業店事務の削減・集約	▶ 営業店事務の削減による生産性の向上
	本部機能の拡充	▶ 本部における営業店バックアップ体制の強化
	③ コストミニマムと成果の還元	
	必要資源の最適化	▶ 「ATM手数料の全額還元」サービスの維持
	商品・サービスの向上	▶ 組合員にとって特別感のある商品・サービスの実現
	営業体制の充実	▶ 組合員・勤労者に寄り添う時間の創出

恒常的な取組み	3年後にめざす到達点
● 人材の確保・育成・活用 ● コンプライアンス ● リスク管理 ● ALM (資産負債総合管理) ● マネー・ローンドリングおよびテロ資金供与対策 ● サイバーセキュリティ ● 内部監査	▶ 安定的な組織基盤の底上げ